

【糸井隆夫教授 胆肝膵特別外来新設のご案内】

残暑厳しき折、皆様にはお健やかに過ごしの事とお慶び申し上げます。

この度、当院では、東京医科大学消化器内科分野主任教授・糸井隆夫先生をお迎えして、特別外来を新設することとなりました。糸井教授は、難治癌の代表である膵胆道癌の早期診断法の開発と広範な研究成果に基いた高難度・低侵襲医療に顕著な業績をあげてられました。そのご高名は国内に留まらず、海外からの受診者も多数いらっしゃいます。

胆道・肝臓・膵臓は、沈黙の臓器ともいわれ、疾患の発見・治療ともに困難なのです。開設以来、一貫して「予防医学」を実践してまいりました水町クリニックにおきまして、「糸井教授 胆肝膵特別外来」を開設できますことは、私には名誉ですが、なによりも皆様方への朗報と存じます。特に従来の上部消化器内視鏡に加えて、無痛性超音波内視鏡を駆使した最高度の胆肝膵精査をご用意いたしております。メディカルクラブ会員の皆様には、ぜひこの機会にご受診なされることをお勧め申し上げます。

水町メディカルグループ総院長 水町 重範

糸井隆夫教授（東京医科大学消化器内科学分野主任教授）略歴とメッセージ



東京医科大学卒業

国立がんセンター、慶應義塾大学消化器内科、

東京医科歯科大学消化器内科などの客員教授・臨床教授を兼任

日本消化器内視鏡学会評議員・認定専門医・指導医

日本消化器病学会評議員・認定専門医・指導医

日本膵臓学会評議員、日本胆道学会評議員・指導医

日本がん治療認定機構がん治療認定医

近年、難治性癌の代表とされる膵胆道癌が増え続け、社会の関心も高まっております。特に、膵臓は体の奥深くに存在するため、CT、MRI といった優れた画像診断技術の進歩にかかわらず、発見されたときにはすでに手遅れとなっている場合もあります。しかしながら、こうした難治とされる癌でも早期発見により、完治を目指すことも可能です。また最近では、身内に2人以上膵癌がいる人や膵嚢胞がある人は、そうでない人に比べて膵癌になりやすいといった、いわゆる癌のリスク因子など色々なことがわかってきています。

特別外来では、正確な診断のために必要な検査とその後フォローの仕方や必要な治療についてわかりやすくご説明いたします。お気軽にご相談ください。

【糸井隆夫教授 胆肝膵特別外来】

初回9月12日より、毎月第2第4月曜日 午前中《各回8名まで》

水町総院長、秘書課にお申込みください。(自由診療となります)

発行日：2016年8月25日

編集・発行：水町クリニック 新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル3F

Tel.03(3348)2181 Fax.03(3348)8939